石巻専修大学
●「石巻専修大学」ホームページ● http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/
代表電話番号 0225(22)7711
広報専用FAX 0225(22)7809

気持ちを新たに努力を

2014年度入学式

318人 決意を胸に

坂田学長が激励の言葉

▲　式辞を述べる坂田学長

2014年度の石巻専修大学入学式が4月4日、本学体育館で行われた。今年度は理工学部143人、経営学部117人、人間学部51人の学部生311人と、大学院生7人の計318人が入学。多くのご父母・保護者や教職員、来賓らが出席するなか、新入生たちは緊張の面持ちで式に臨み、大学生活の第一歩を踏み出した。

坂田隆学長は式辞の中で「大学で学ぶ上で大事なことは、個別的な知識ではなく、学問の体系をいちど理解することです。4年間かけて学問の全体像が自分の中に浮かぶようになってほしいと思います。大学院で学ぶ人たちは、その全体像のどこに自分がいて、どの部分を切り開こうとしているのかを意識してください」と語り、「社会は偏差値や大学の名前で道が開けるほど甘いものではありません。気持ちを新たにして大学生活に臨んでください。これからの努力がすべてです」と激励した。

続いて日髙義博理事長、亀山紘石巻市長が祝辞を述べ、入学を歓迎した。

最後に新入生を代表して2人が宣誓。大学院理工学研究科修士課程の齊藤愛美さんは「東日本大震災から3年が経過しましたが、復興へ向けた道のりはまだ長いです。石巻専修大学生として、地域復興と日本の発展に貢献できるように励んでいきます」と誓った。また、理工学部の武山圭佑さん（宮城県石巻西高）は「勉学に励み、社会に貢献できる人材を目指します。知識や技術を身につけ、地元石巻の復興や、今まで支援してくださった全国、世界中の方々への恩返しと、自分の未来のために日々精進していきます」と、力強く決意の言葉を述べた。

▲　緊張の面持ちで列席する新入生

◆ 大学基準協会から適合認定

石巻専修大学は、公益財団法人大学基準協会による2013年度大学評価を受け、審査の結果、同協会の定める大学基準に適合していると認定された。

認定期間は2014年4月1日から2021年3月31日まで。

Japan University Accreditation Association since 1947
UNIVERSITY ACCREDITED 2014.4~2021.3

「水産」の復興めざして

シンポ開催

復興共生プロジェクト主催のシンポジウム「被災地域の水産業及び水産加工業支援―水産物及び水産加工品の安全性確保のための技術支援活動及び人材育成―」が3月17日、本学キャンパスで開催された。学生・市民ら約30人が出席し、学内外の研究者4人による講演と討論が行われた。

同プロジェクトは文部科学省平成25年度「大学等における地域復興のためのセンター的整備事業」に採択されており、今回はその活動の一環として実施された。

講演者は、▽角田出理工学部教授▽佐藤利夫氏（島根大学産学連携センター地域産業共同研究部門長／生物資源科学部教授）▽高瀬清美理工学部助手▽佐藤周之氏（高知大学教育研究部自然科学系准教授）の4人（発表順）。被災地域の基幹産業である水産業と水産加工業に焦点を絞り、地域活性化や復興支援における現在の課題、水域環境の現状などが報告された。

講演後に総合討論が行われ、地域の強みを生かした水産物や水産加工品の製造、地域を活性化させる環境づくりなどについて、講演者と出席者が意見を交わした。

キャンパスライフに 夢膨らませ

オリエンテーション

入学式を終えたばかりの新入生たちは、「新入生オリエンテーション・セミナー」に参加した。

これは新入生を歓迎するとともに、石巻専修大学に関する理解を深めてもらおうと、毎年実施されているイベント。今年も宮城県宮城郡松島町のホテル松島大観荘で4月7、8の1泊2日の日程で開催された。新入生たちは、教員や先輩たちから、大学生活の過ごし方などを聞いた。

坂田学長、湊信吾学生部長による全体説明会の後、学科別プログラムを実施。大学での学び方や講義内容の紹介、時間割の組み方などの説明が行われた。

また、先輩たちによるサークルや大学祭の紹介のほか、日本三景の一つ・松島海岸の散策も行われ、新入生たちは楽しみながら、これから始まるキャンパスライフの不安を解消した。

▲　学科別プログラムで自己紹介する新入生

理工卒の2人 学会から表彰

3月に理工学部を卒業した2人が、学外の専門学会から表彰された。

菊地洸陽さん（機械工学科・青森県三沢高）が「日本機械学会畠山賞」を、篠村僚一さん（情報電子工学科・秋田県大館鳳鳴高）が「日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞」をそれぞれ受賞した。

▶　賞状を授与される菊地さん㊤と篠村さん㊦

両賞は、人格・学業の両面で優れた者を顕彰するもので、卒業に際して授与される。

2人には3月20日の学位記授与式終了後、各学科の教員から賞状と副賞が手渡された。

新専任教員に8人

新たに8人が専任教員となった（4月1日付）。各教員の氏名、職名、主な担当科目は次のとおり（敬称略）。

【理工学部】

木村 健司　助教　「情報システム概論」「プログラミング論」

佐藤 幹男　教授　「教育制度論」「教育課程論」「教職概論」

照井 孫久　教授　「社会福祉論」「地域福祉論」「相談援助」

有見 正敏　特任教授　「算数」「専門職研究」「保育・教育研究」

田中 秀典　特任教授　「初等教科教育法（算数）」「算数」

遠藤 郁子　特任准教授　「言語芸術文化論」「日本文学研究」「日本文学研究」

新福 悦郎　特任准教授　「社会」「地域・学校連携論」「初等教科教育法（社会）」

佐藤 誠子　助教　「心理学概論」「心理学基礎実験」